



JFE エンジニアリング 株式会社

グループの名称

「J」は日本(Japan)、「F」は鉄鋼(鉄の元素記号Fe)、
「E」はエンジニアリング(Engineering)を意味し、
鉄鋼とエンジニアリングをコア事業とした
「日本を代表する未来志向の企業グループ」
(Japan Future Enterprise)であることを表しております。

JFEのシンボルマーク

形
無限に回転し続ける球体は、あらゆる顧客との接点を広く求め、
コミュニケーションを深めていくことを意味しております。

色
ブルーは信頼・奥深さを意味し、地球規模で活動していく企業、
宇宙・空といった無限で広大な企業イメージを表現しております。

沿岸 鋼構造物

Coastal
Steel Structure



くらしの礎を「創る」「担う」「つなぐ」 Just For the Earth



JFEエンジニアリング株式会社は、
2003年4月1日に
日本鋼管株式会社と川崎製鉄株式会社の
エンジニアリング部門が
統合し、設立された会社です。

鉄構インフラ事業部は、日本鋼管と川崎製鉄の時代より、今日まで脈々と培ったものづくりの技術とノウハウを活かし、ハイブリッドケーソン(護岸・岸壁、防波堤)、ジャケット式栈橋、沈埋函、浮栈橋、空港施設などの沿岸鋼構造物を多数提供してまいりました。近年では、インフラ老朽化に伴う延命化に加え、2011年の東日本大震災を契機とした復興・国土強靱化対策においても、ハイブリッド防潮堤、深梁工法、がんばし工法など斬新な製品で、皆様のニーズにお応えしております。今後とも、社会インフラを支えるプレキャスト構造物を創出し、海から陸へ事業領域を拡大してまいります。



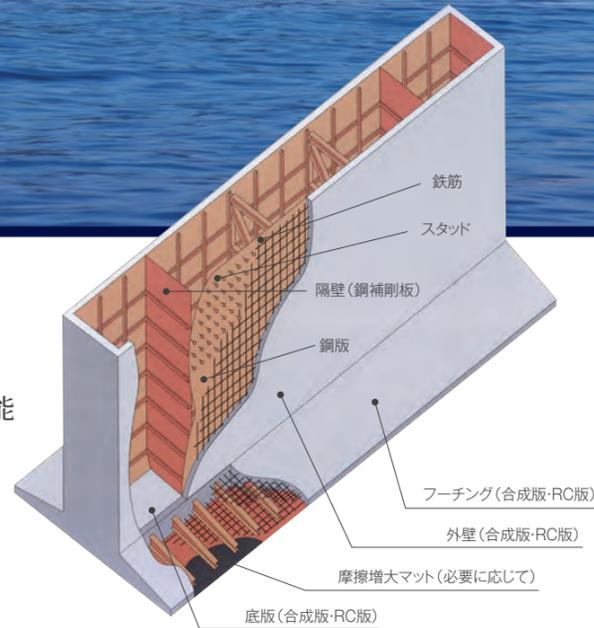
ハイブリッドケーソン

Hybrid Caisson



釜石港湾口防波堤(災害復旧事業)

- 施工延長：100m
- 発注者：国土交通省 東北地方整備局
- 幅×長さ：20.3/22.5m×50.0m
- ケーソン高：19.5m
- ケーソン重量：7,603t/函

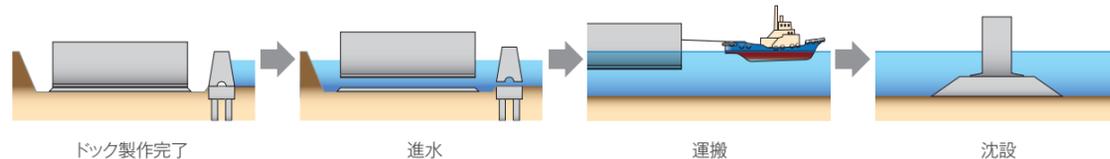


特徴

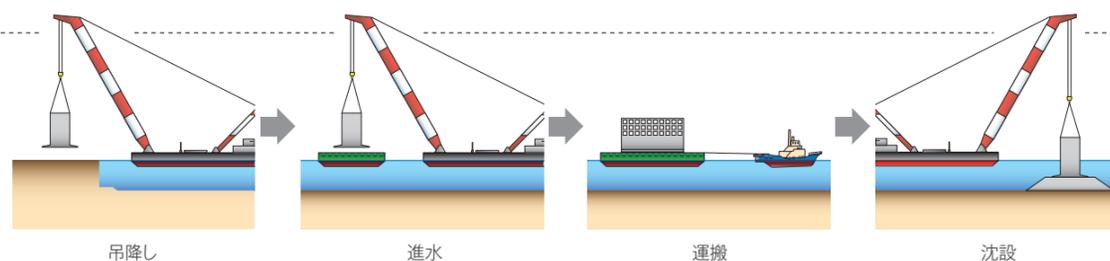
- ① フーチングを大きく張り出すことが可能
- ② 軽量で低吃水、ケーソンの長大化が可能
- ③ コンクリート工事の省力化
- ④ さまざまな形状にも容易に対応可能

施工フロー

[ドック内製作]



[ヤード製作]



衣浦港3号地廃棄物最終処理場護岸

- 施工延長：810m
- 発注者：(財)愛知臨海環境整備センター
- 幅×長さ：15.0m×90.0m
- ケーソン高：17.5m~15.5m
- ケーソン重量：6,067t~5,625t/函



浮島地区廃棄物埋立護岸

- 施工延長：1,190m
- 発注者：川崎市
- 幅×長さ：8.0m×15.0m
- ケーソン高：15.0m
- ケーソン重量：1,408t/函



茨城港大洗地区水門下部基礎

- 発注者：茨城県
- 幅×長さ：27.5m×29.5m
- 高さ：14.5m
- 重量：2540t



伏木富山港道路(東西線)橋梁基礎鋼殻

- 発注者：国土交通省 北陸地方整備局
- 幅×長さ：13.0m×29.0m
- ケーソン高：11.5m
- ケーソン重量：398t/函

■ 海洋ドック

海洋ドックの主要諸元

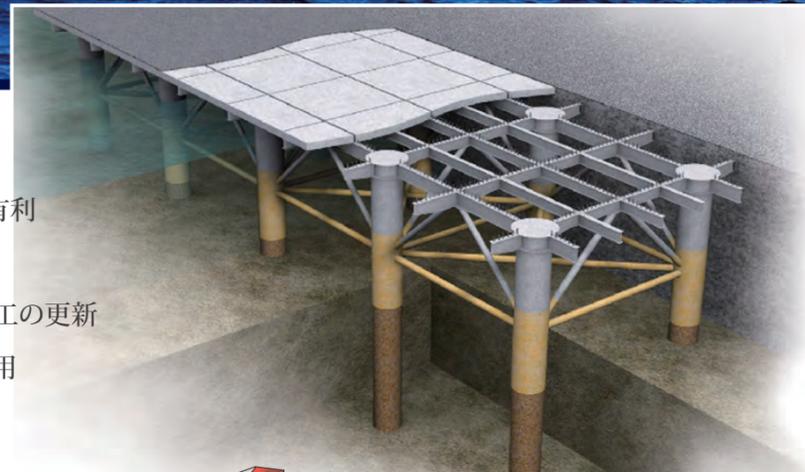
- 大きさ：150m×250m
- 渠底：GL-17.0m
- 渠底耐力：30.0t/m²



武豊火力発電所前灰捨場護岸

- 発注者：株式会社JERA
- 幅×長さ：19.0m×90.0m
- ケーソン高：16.0m
- 総鋼重：14000t

ジャケット Jacket

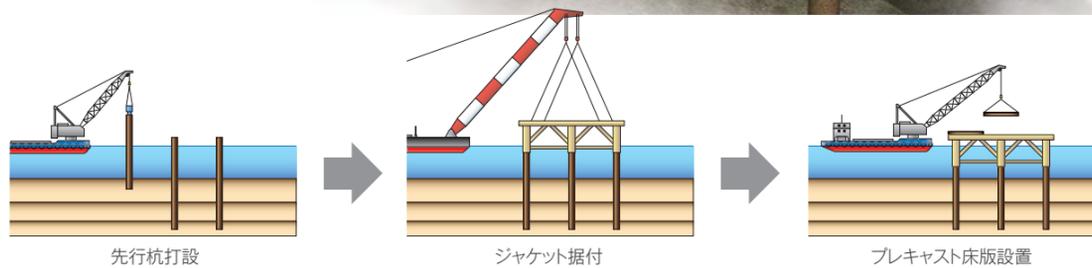


特徴

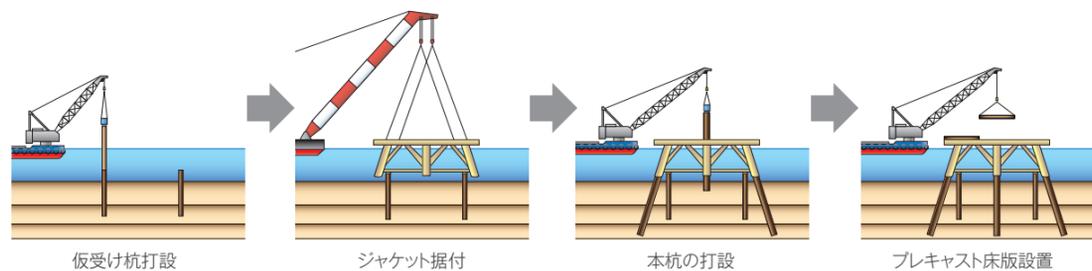
- ① 大水深・軟弱地盤に有利
- ② 現地工程の短縮
- ③ 老朽化した栈橋上部工の更新
- ④ 減肉した既設杭を利用

施工
フロー

[先行杭方式]



[仮受け杭方式]



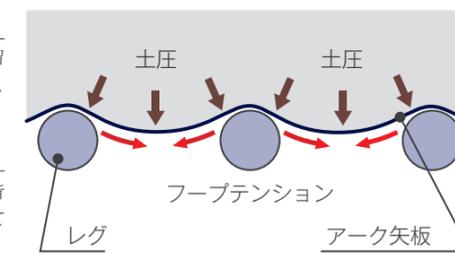
■ 新工法：アーク矢板土留付ジャケット

工法の概要

ジャケット式栈橋にアーク矢板土留(直線形鋼矢板)を一体化した合理的、かつ経済的な岸壁構造です。

構造の特徴

矢板をアーク状に配置することにより、背面土圧を矢板のフープテンションとして直接ジャケットのレガへ伝えるものです。



引張りに強い鋼材の特性をフル活用することで、鋼重削減・工費削減を実現します。

NETIS登録 特許 CBK-070001-VR 3799939

ハイブリッド防潮堤® Hybrid Sea Wall

気仙沼港・大川 防潮堤

- 施工延長：2,650m
- 発注者：宮城県
- ユニット長：5.0m～10.0m
- 壁高：5.7～6.4m
- 海抜：TP+7.2m

ハイブリッド防潮堤施工実績

ハイブリッド防潮堤
2015年国土技術開発賞 [優秀賞]受賞

第17回 国土技術開発賞

主催：一般財団法人 国土技術開発センター、一般財団法人 沿岸技術開発センター



山田漁港 防潮堤

- 施工延長：1,000m
- 発注者：岩手県
- ユニット長：6.0m
- 壁高：7.95～8.35m
- 海抜：TP+9.7m

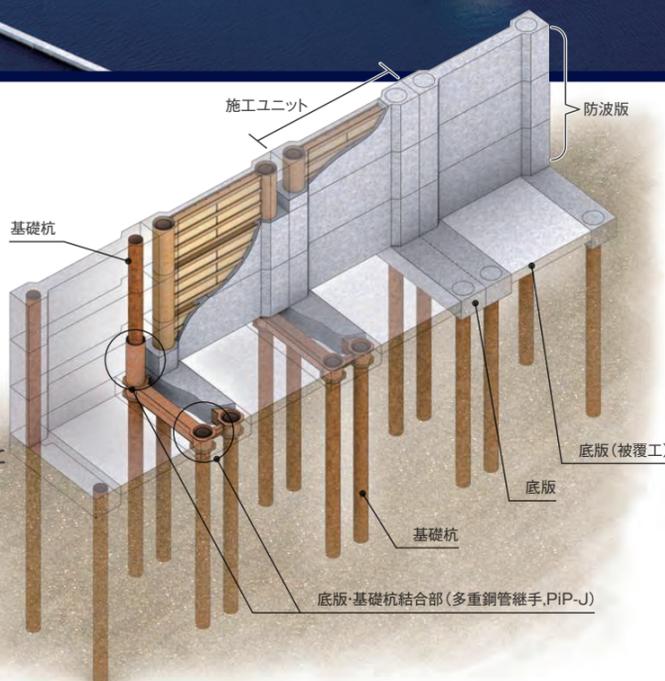
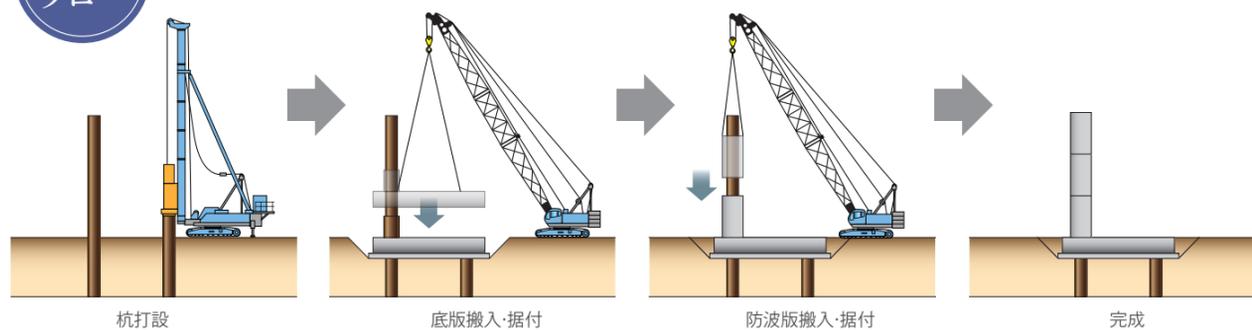
防波壁施工実績

特徴

- ① プレキャスト化による急速施工
- ② 現地調達資材の削減
- ③ 狭隘地での施工性向上
- ④ ハイブリッド構造による粘り強い構造
- ⑤ 鋼とコンクリートの材料特性を活かした経済性の向上

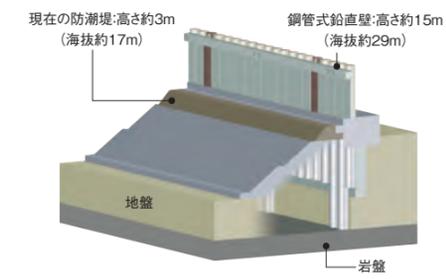
NETIS登録 KTK-160017-A
特許 5024489

施工 フロー



浜岡原子力発電所 防波壁

- 施工延長：約1.3km
- 発注者：中部電力(株)
- 壁高：14～16m
- 壁厚：2m
- 総鋼重：約20,000t



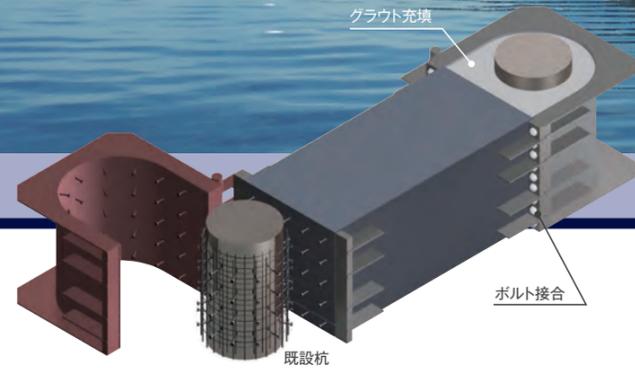
女川原子力発電所 防潮堤かさ上げ

- 施工延長：680m
- 発注者：東北電力(株)
- 海抜：約29m
- 鋼材重量：14,700t

深梁工法

青森港本港地区岸壁改良

- 発注者：国土交通省
東北地方整備局
- 梁 高：0.9m
- 梁 幅：0.45m
- 杭 径：Φ1,000



青森港 深梁施工中

適用

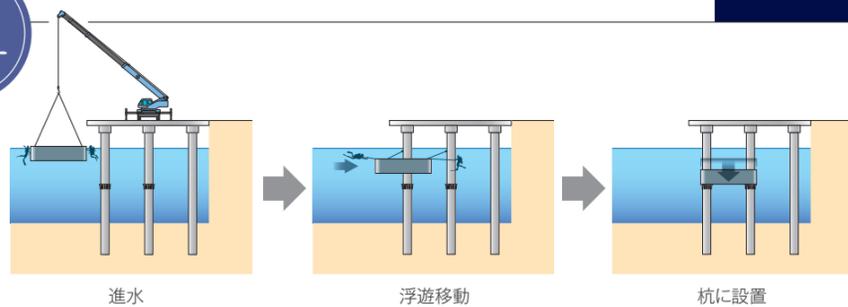
- ① 杭式栈橋の設計震度増加に対応
- ② 船舶大型化・岸壁増深に対応

特徴

- ① 栈橋を供用しながらの補強が可能
- ② 大型重機不要

NETIS登録 KTK-140008-A 特許 5136589

施工フロー



深梁施工実績

大阪南港フェリー埠頭第一・第二栈橋補強

● 発注者：阪神国際港湾(株)

松川浦漁港栈橋(災害復旧)

● 発注者：福島県

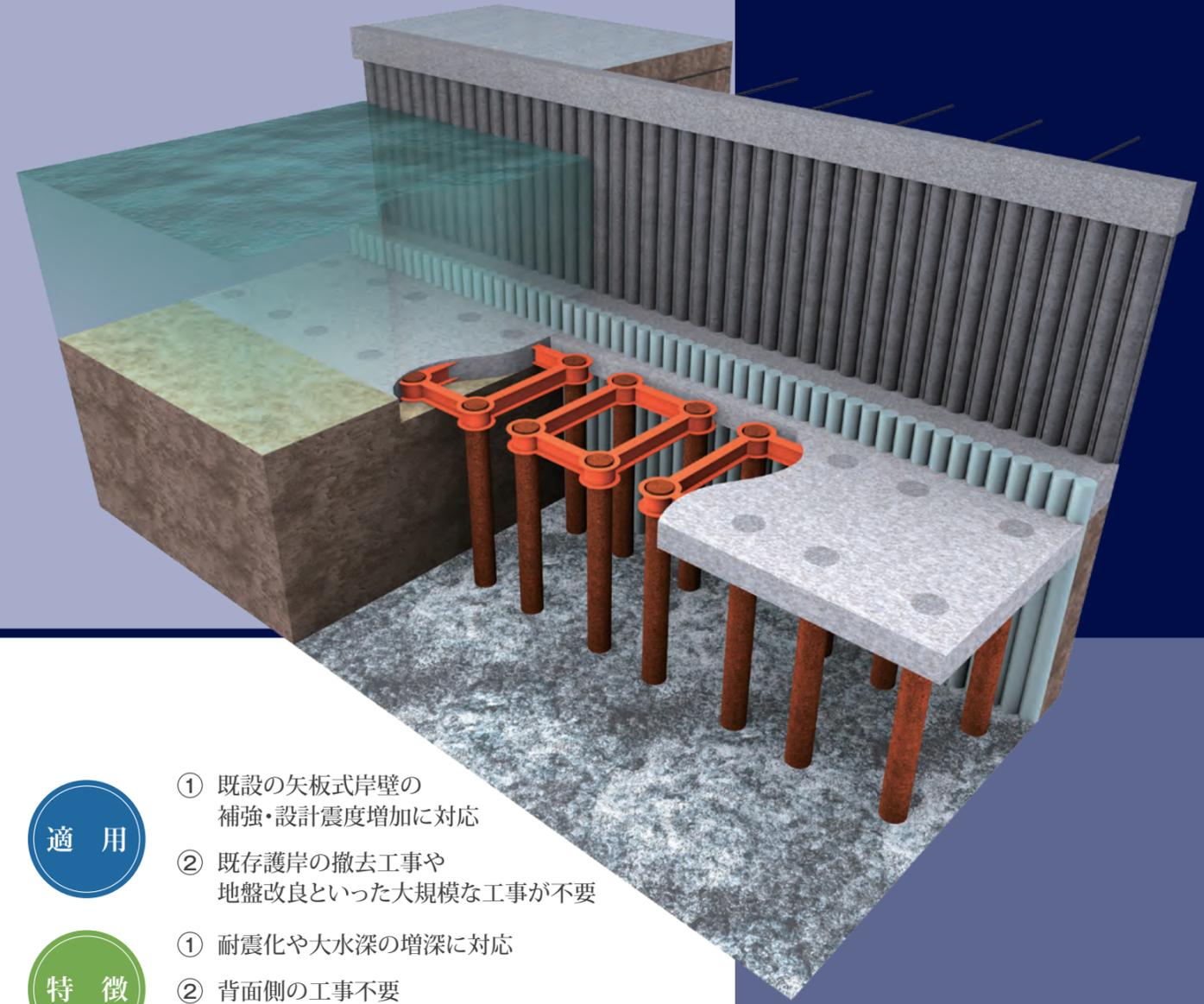
清水港日の出岸壁

● 発注者：国土交通省 中部地方整備局

平良港漲水地区ドルフィン補強

● 発注者：沖縄総合事務局

矢板岸壁補強工法



適用

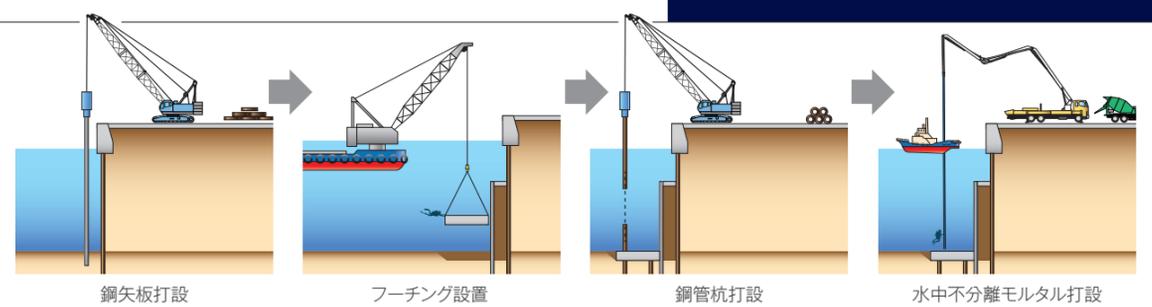
- ① 既設の矢板式岸壁の補強・設計震度増加に対応
- ② 既存護岸の撤去工事や地盤改良といった大規模な工事が不要

特徴

- ① 耐震化や大水深の増深に対応
- ② 背面側の工事不要
- ③ 共用しながら補強可能

NETIS登録 KTK-220001-A 特許 7149919

施工フロー



沈埋函

北九州港新若戸トンネル

- 発注者：国土交通省
九州地方整備局
- 幅：27.9m
- 高さ：8.4m
- 長さ：79.0m
- 総鋼重：1,940t



空港施設

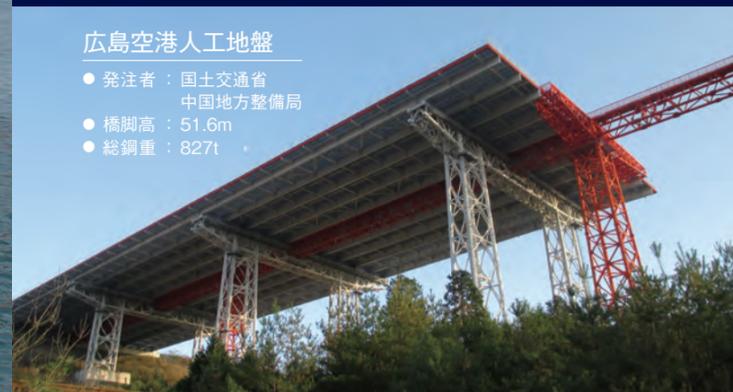
東京国際空港A滑走路LOC用地

- 発注者：国土交通省 関東地方整備局
- 橋延長：105.0m
- 幅：97.0m
- 総鋼重：2681t



広島空港人工地盤

- 発注者：国土交通省
中国地方整備局
- 橋脚高：51.6m
- 総鋼重：827t



那覇空港36側進入灯

- 発注者：沖縄総合事務局
- 製作数：20P
- 総鋼重：368t



大阪港夢洲トンネル

- 発注者：国土交通省
近畿地方整備局
- 幅：36.5m
- 高さ：9.4m
- 長さ：93.0m
- 総鋼重：3,360t



那覇港うみそらトンネル

- 発注者：内閣府 沖縄総合事務局
- 幅：36.9m
- 高さ：8.9m
- 長さ：90.0m
- 総鋼重：2,910t



浮棧橋

中城湾港(津堅地区)浮棧橋

- 発注者：沖縄県
- 幅：10.0m
- 高さ：2.0m
- 長さ：30.0m
- 製作函数：1函



Dalla Ferry Terminal Jetty

- 発注者：JICA (Myanmar)
- 幅：6.0m
- 高さ：2.5m
- 長さ：37.0m
- 製作函数：2函



MM21旅客ターミナル浮棧橋

- 発注者：横浜市
- 幅：24.0m
- 高さ：3.2m
- 長さ：24.0m
- 製作函数：1函



製作拠点



津製作所



扇島ケーソンヤード
(総面積:9,000m²)



北日本機械(株)



福山ケーソンヤード
(総面積:30,000m²)



東北ドック鉄工(株)



津製作所

千葉ケーソンヤード
(総面積:5,000m²)





JFE エンジニアリング 株式会社

営業 >>> 社会インフラ本部 鉄構インフラ事業部 営業部
 技術 >>> 社会インフラ本部 鉄構インフラ事業部 技術部

〒230-8611 神奈川県横浜市鶴見区末広町二丁目1番地 TEL:045-505-7418

詳細はホームページをご覧ください。 <http://www.jfe-eng.co.jp>

本社

| | | | |
|------|-----------|-------------------------------|------------------|
| 東京本社 | 〒100-0011 | 東京都千代田区内幸町二丁目2番3号(日比谷国際ビル22階) | TEL:03-3539-7250 |
| 横浜本社 | 〒230-8611 | 神奈川県横浜市鶴見区末広町二丁目1番地 | TEL:045-505-7435 |

製作拠点

| | | | |
|------------|-----------|---------------------|------------------|
| 津製作所 | 〒514-0393 | 三重県津市雲出鋼管町1番地 | TEL:059-246-2010 |
| 鶴見製作所 | 〒230-8611 | 神奈川県横浜市鶴見区末広町二丁目1番地 | TEL:045-505-7435 |
| 笠岡モノパイル製作所 | 〒714-0063 | 岡山県笠岡市鋼管町13番地 | TEL:0865-60-0502 |

支店

| | | | |
|----------|-----------|--------------------------------------|------------------|
| 北海道支店 | 〒060-0001 | 北海道札幌市中央区北1条西三丁目2番地(井門札幌ビル4階) | TEL:011-271-2211 |
| 東北支店 | 〒980-0021 | 宮城県仙台市青葉区中央一丁目6番35号(東京建物仙台ビル4階) | TEL:022-264-2411 |
| 福島復興再生支店 | 〒960-8041 | 福島県福島市大町1番13号(ワークビル2階) | TEL:024-524-0010 |
| 横浜支店 | 〒230-8611 | 神奈川県横浜市鶴見区末広町二丁目1番地 | TEL:045-505-7466 |
| 川崎支店 | 〒210-0015 | 神奈川県川崎市川崎区東田町8番地(パレール三井ビルディング1F) | TEL:044-200-7524 |
| 新潟支店 | 〒950-0087 | 新潟県新潟市中央区東大通1丁目2番23号(北陸ビル3F) | TEL:025-245-5341 |
| 北陸支店 | 〒930-0004 | 富山県富山市桜橋通り3番1号(富山電気ビルディング1階) | TEL:076-432-3511 |
| 静岡支店 | 〒420-0851 | 静岡県静岡市葵区黒金町11-7(大樹生命静岡駅前ビル11階) | TEL:054-653-1755 |
| 名古屋支店 | 〒450-6430 | 愛知県名古屋市中村区名駅三丁目28番12号(大名古屋ビルヂング 30階) | TEL:052-561-8611 |
| 大阪支店 | 〒532-0003 | 大阪府大阪市淀川区宮原一丁目1番1号(新大阪阪急ビル5階) | TEL:06-6398-5101 |
| 中国支店 | 〒730-0016 | 広島県広島市中区鞆町13番15号(新広島ビルディング4階) | TEL:082-535-4221 |
| 九州支店 | 〒812-0013 | 福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目7番27号(TERASO-II8階) | TEL:092-474-1570 |
| 沖縄支店 | 〒900-0015 | 沖縄県那覇市久茂地1丁目12番12号(ニッセイ那覇センタービル11階) | TEL:098-868-9426 |

